

第32回地域バス交通活性化セミナー 「運転手確保」と「リ・デザイン」 による沖縄県内バス交通の活性化

日時：令和8年7月17日（金） 13:30～16:30（13:00受付開始）

会場：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室
（沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号）

主催：内閣府沖縄総合事務局、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

定員：会場60名、オンライン300名（定員になり次第締め切ります）

参加費：無料

参加申込：右側のQRコードもしくは下記URLからお申し込みください
（https://www.ecomo.or.jp/environment/bus/32th_seminar.html）



【プログラム】

13:30 開会挨拶 内閣府沖縄総合事務局 運輸部長 本村龍平氏
（公財）交通エコロジー・モビリティ財団 理事長 若林陽介氏

13:40 講演 「貴重な担い手を活かしつつ利便性を高めるために
公共交通はどうリ・デザインされるべきか？」
名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 加藤博和氏

14:30 事例紹介 「人手不足時代に選ばれる会社」
株式会社サポートエクスプレス 代表取締役 飯島勲氏

15:00 休憩

15:15 パネルディスカッション 「沖縄県における“運転手確保”と“リ・デザイン”」
パネリスト：株式会社琉球バス交通・那覇バス株式会社 代表取締役 小川吾吉氏
沖縄バス株式会社総務課 課長 西里憲仁氏
沖縄県企画部交通支援課 課長 大仲浩二氏
名古屋大学大学院環境学研究科 教授 加藤博和氏

コーディネーター：琉球大学工学部 教授 神谷大介氏

16:30 閉会

問合せ先：交通エコロジー・モビリティ財団企画調査部
（担当：岡本、田中）

TEL：03-5844-6268 E-Mail：bus [at] ecomo.or.jp

※送信時は [at] を@に変えてください



【開催趣旨】

沖縄県ではクルーズ船の寄港数もコロナ前に戻ってきており、来県者数がコロナ前を越え過去最大数となっています。一方で運転手不足は沖縄県でも重要な課題となっており、さらに観光客の増加で乗合バスの運転手を観光バスに回さざるをえない事業者も出てきています。

また、那覇市内の家賃や物価の上昇で那覇市内郊外部や近隣市町への転居が進んでおり、公共交通の便が悪い地域においてはマイカー通勤が顕著となっており、道路渋滞が常態化しています。そのため利便性の高い公共交通網の構築が必要ですが、運転手不足もあって進まず、大きな課題となっています。

そこで本セミナーでは、運転手不足の解消に取り組まれた好事例について学ぶとともに、バス交通事業者同士の連携や送迎バスといった様々な移動手段の連携を模索し、利便性の高い交通ネットワークの実現に向けた議論を行います。

会場アクセス（沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室）

注：セミナーの趣旨から公共交通機関をご利用ください

<モノレール> 「おもろまち駅」より徒歩 15 分

<バス>（本島中北部方面から）

○「県立博物館前」バス停から（徒歩約1分）

読谷から【228】読谷おもろまち線

具志川から【263】謝苅おもろまち線・【223】具志川おもろまち線

うるま市から【227】屋慶名おもろまち線

○「おもろまち1丁目」バス停から（徒歩約5分）

具志川から【21】具志川おもろまち線

運天港から【YKB】空港線

○「おもろまち3丁目」バス停から（徒歩約7分）

宜野湾から【99】天久新都心線（上り）

○「おもろまち駅前」バス停から（徒歩約12分）

具志川から【90】知花線（上り）【112】国体道路線（上り）

宜野湾から【88】宜野湾線（上り）【98】琉大線（上り）

浦添から【55】牧港線（上り）【56】浦添線（上り）

西原から【333】那覇西原線（末吉経由）

（本島南部方面から）

○「県立博物館前」バス停から（徒歩約1分）

糸満から【200】糸満おもろまち線【235】志多伯おもろまち線

那覇から【3】松川新都心線（下り）【7】首里城下町線（下り）【10】那覇新都心線（下り）

○「おもろまち1丁目」バス停から（徒歩約3分）

那覇から【4】新川おもろまち線（下り）【8】首里城下町線

那覇空港から【KYB】空港線

○「那覇メインプレイス東口」バス停から（徒歩約5分）

那覇から【6】那覇おもろまち線【13】石嶺おもろまち線



※詳細は上記
QRコードから
ご確認ください